平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月24日

上 場 会 社 名　信越ポリマー株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　7970　　ＵＲＬ　http://www.shinpoly.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）　赤澤　宏
問合せ先責任者　（役職名）経理グループマネジャー（氏名）　平澤秀明　（TEL）　03(5289)3716

四半期報告書提出予定日　平成24年11月９日　配当支払開始予定日　平成24年11月30日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	30,369	△5.4	563	△24.1	634	△14.6	190	△42.2
24年３月期第２四半期	32,086	△10.9	742	△64.1	743	△58.6	328	△68.9

（注）包括利益　25年３月期第２四半期　277百万円（△62.6%）　24年３月期第２四半期743百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	2.34	―
24年３月期第２四半期	4.05	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	80,362	60,678	74.4
24年３月期	81,017	60,749	73.9

（参考）自己資本　25年３月期第２四半期　59,771百万円　24年３月期　59,862百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	4.50	―	4.50	9.00
25年３月期	―	4.50			
25年３月期(予想)			―	4.50	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　　期	63,000	0.6	1,100	2.7	1,200	△3.9	400	31.6	4.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規　　ー社　　（社名）　　、除外　　ー社　　（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：有
④ 修正再表示：無
（注）「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。
詳細は、添付資料４ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年３月期２Ｑ	82,623,376株	24年３月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	1,338,359株	24年３月期	1,337,989株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年３月期２Ｑ	81,285,232株	24年３月期２Ｑ	81,285,960株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算説明会内容の入手方法）
当社は、平成24年10月30日（火）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・ 2

(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・ 3
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・ 3

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・ 4

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・ 4
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・ 4
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・ 4

３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・ 5

(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・ 5
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・ 7
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・ 9
(4)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・・10
(5)　セグメント情報等　・・・・・・・・・・・・・・・10
(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・・11

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における経済環境は、日本では一時持ち直しの動きがみられましたが、円高の長期化、新興国経済の減速など、世界経済の先行き不透明感が強まりました。

当社グループ関連の市場環境につきましても、デジタル家電市場の低迷、半導体業界の設備投資抑制など、依然厳しい状況が続いております。

このような背景のもと、当社グループは、新製品提案や新規顧客開拓など販売活動を進める一方、生産面では固定費の削減や生産効率の向上などに努めましたが、全体として低調に推移しました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は303億69百万円（前年同四半期比5.4％減）、営業利益は５億63百万円（前年同四半期比24.1％減）、経常利益は６億34百万円（前年同四半期比14.6％減）、四半期純利益は１億90百万円（前年同四半期比42.2％減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子デバイス事業

当事業では、自動車関連製品や防水製品の出荷を伸ばしましたが、全体としては厳しい状況が続きました。

入力デバイスでは、自動車用のキーパッド及びタッチスイッチ、パソコン用のタッチパッドは順調に出荷を伸ばしました。一方、携帯電話用キーパッドは、さらに需要減少が続きました。ディスプレー関連デバイスでは、ＡＴＭ用の視野角制御フィルム（ＶＣ-Ｆｉｌｍ）は堅調でしたが、液晶テレビ用パッキンは需要減少が続きました。コンポーネント関連製品では、携帯電話向け防水製品において、一時、顧客の生産調整がありましたが、前年比では、売上げを伸ばしました。

この結果、売上高は76億88百万円（前年同四半期比8.4％減）、セグメント損失(営業損失）は24百万円（前年同四半期は２億98百万円の損失）となりました。

②精密成形品事業

当事業では、ＯＡ機器用部品は堅調に推移しましたが、半導体関連容器が振るわず、全体として前年を大きく下回りました。

半導体関連容器につきましては、半導体業界の需要低迷が続いており、低調な出荷で推移しました。キャリアテープ関連製品は、スマートフォン用及び車載用電装部品の用途が増加しましたが、全体としては前年並みとなりました。ＯＡ機器用部品は、一時、生産調整の影響がありましたが、新興国需要を背景に、堅調に推移しました。シリコーンゴム成形品は、メディカル関連製品は堅調でしたが、電子部品用製品、健康関連製品は、低調となりました。

この結果、売上高は111億99百万円（前年同四半期比11.4％減）、セグメント利益(営業利益）は８億39百万円（前年同四半期比35.4％減）となりました。

③住環境・生活資材事業

当事業では、関連市場の需要が低調で、天候不順の影響もありましたが、全体としては前年並みとなりました。

ラッピングフィルムなど包装資材関連製品は、猛暑や豪雨など天候不順が出荷に影響しました。機能性コンパウンドは、自動車向け製品を中心に安定した出荷となりました。塩ビパイプ関連製品は、市場全体の需要は低調でしたが、住宅着工に緩やかな回復があり、前年並みとなりました。外装材関連製品は、上半期前半の荒天による一時需要があり、昨年を上回りました。

この結果、売上高は87億96百万円（前年同四半期比1.0％増）、セグメント損失(営業損失）は１億87百万円（前年同四半期は１億81百万円の損失）となりました。

④その他

工事関連事業では、首都圏の商業施設の改装物件などの受注が堅調に推移しましたが、価格競争の影響がありました。

この結果、売上高は26億86百万円（前年同四半期比14.3％増）、セグメント損失(営業損失）は64百万円（前年同四半期は40百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の状況

（総資産）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は803億62百万円（前連結会計年度末比６億54百万円の減少）となりました。これは、無形固定資産が６億39百万円増加したこと、また、現金及び預金が９億１百万円、受取手形及び売掛金が３億62百万円、投資その他の資産が１億77百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債は196億84百万円（前連結会計年度末比５億83百万円の減少）となりました。これは、仕入債務が10億75百万円減少したこと、また、未払法人税等が２億14百万円、未払費用が１億37百万円、流動負債のその他が１億11百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は606億78百万円（前連結会計年度末比71百万円の減少）となりました。これは、為替換算調整勘定の増加１億55百万円、利益剰余金の減少１億75百万円などによるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して0.5ポイント増加し、74.4％となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、255億10百万円（前連結会計年度末比12億73百万円の減少）となりました。

当第２四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金は、10億64百万円の増加（前年同四半期比11億30百万円の収入減）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益６億12百万円、減価償却費11億87百万円などの計上と売上債権の減少４億２百万円などの増加要因のほか、仕入債務の減少11億円、法人税等の支払い２億40百万円などの減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金は、有形固定資産の取得による支出13億７百万円、無形固定資産の取得による支出４億６百万円、定期預金の預入による支出３億74百万円などにより、20億38百万円の減少（前年同四半期比１億48百万円の支出増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金は、主に配当金の支払い３億64百万円により、３億49百万円の減少（前年同四半期比２億58百万円の支出減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経営環境としては、依然、欧米経済が停滞していることに加え、中国をはじめとするアジア経済にも景気減速が拡大しております。また、円高の定着や原油価格の上昇など、当社グループ関連の市場につきましては、依然として厳しい状況が続くものと思われます。

このような背景のもとで、当社グループといたしましては、市場環境の変化に的確かつスピーディに対応して、新製品の開発及び需要開拓、新興国の市場開拓に注力するとともに、コスト低減など収支改善にも努めてまいります。

これらを踏まえ、当期の連結業績予想は、売上高630億円、営業利益11億円、経常利益12億円、当期純利益４億円を見込んでおります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ15百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,688	27,787
受取手形及び売掛金	18,746	18,383
商品及び製品	5,143	4,884
仕掛品	831	1,049
原材料及び貯蔵品	2,174	2,178
未収入金	1,215	1,226
繰延税金資産	559	613
その他	548	638
貸倒引当金	△123	△88
流動資産合計	57,786	56,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,347	7,125
機械装置及び運搬具（純額）	4,497	5,171
土地	6,129	6,131
建設仮勘定	1,019	544
その他（純額）	822	840
有形固定資産合計	19,816	19,812
無形固定資産		
ソフトウエア	117	100
その他	30	686
無形固定資産合計	148	787
投資その他の資産		
投資有価証券	1,194	1,045
繰延税金資産	1,122	1,104
その他	948	939
投資その他の資産合計	3,266	3,089
固定資産合計	23,231	23,689
資産合計	81,017	80,362

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,948	13,872
短期借入金	0	15
未払金	554	485
未払法人税等	184	398
未払費用	1,058	1,195
賞与引当金	708	806
役員賞与引当金	－	13
その他	520	631
流動負債合計	17,975	17,419
固定負債		
長期借入金	3	2
退職給付引当金	1,752	1,756
資産除去債務	183	184
その他	352	321
固定負債合計	2,291	2,265
負債合計	20,267	19,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,469	10,469
利益剰余金	45,598	45,422
自己株式	△944	△944
株主資本合計	66,758	66,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121	51
為替換算調整勘定	△7,017	△6,862
その他の包括利益累計額合計	△6,896	△6,811
新株予約権	248	264
少数株主持分	639	642
純資産合計	60,749	60,678
負債純資産合計	81,017	80,362

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	32,086	30,369
売上原価	23,890	22,722
売上総利益	8,195	7,647
販売費及び一般管理費	7,453	7,084
営業利益	742	563
営業外収益		
受取利息	55	87
貸倒引当金戻入額	10	35
その他	55	29
営業外収益合計	121	152
営業外費用		
支払利息	16	16
為替差損	100	56
その他	4	8
営業外費用合計	121	81
経常利益	743	634
特別利益		
固定資産売却益	3	10
投資有価証券売却益	－	8
新株予約権戻入益	4	－
特別利益合計	8	19
特別損失		
固定資産除却損	7	9
投資有価証券評価損	－	31
会員権評価損	4	－
特別損失合計	12	41
税金等調整前四半期純利益	739	612
法人税、住民税及び事業税	448	441
法人税等調整額	△26	△12
法人税等合計	421	429
少数株主損益調整前四半期純利益	317	183
少数株主損失（△）	△11	△6
四半期純利益	328	190

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	317	183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69	△69
為替換算調整勘定	495	164
その他の包括利益合計	426	94
四半期包括利益	743	277
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	746	275
少数株主に係る四半期包括利益	△3	2

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	739	612
減価償却費	1,291	1,187
退職給付引当金の増減額（△は減少）	40	3
受取利息及び受取配当金	△66	△98
支払利息	16	16
為替差損益（△は益）	121	46
固定資産売却損益（△は益）	△3	△10
固定資産除却損	7	9
売上債権の増減額（△は増加）	880	402
たな卸資産の増減額（△は増加）	△456	66
仕入債務の増減額（△は減少）	46	△1,100
未払又は未収消費税等の増減額	37	86
その他	14	1
小計	2,666	1,222
利息及び配当金の受取額	60	98
利息の支払額	△16	△16
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△516	△240
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,194	1,064
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,074	△374
有形固定資産の取得による支出	△879	△1,307
有形固定資産の売却による収入	97	30
無形固定資産の取得による支出	△18	△406
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
その他	△13	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,890	△2,038
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	15
配当金の支払額	△607	△364
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△608	△349
現金及び現金同等物に係る換算差額	244	51
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△60	△1,273
現金及び現金同等物の期首残高	25,969	26,783
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,909	25,510

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,394	12,635	8,707	29,736	2,349	32,086
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	8,394	12,635	8,707	29,736	2,349	32,086
セグメント利益又は損失（△）	△298	1,300	△181	819	△40	779

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	819
「その他」の区分の損失	△40
棚卸資産の調整額	△45
その他の調整額	9
四半期連結損益計算書の営業利益	742

当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,688	11,199	8,796	27,683	2,686	30,369
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	7,688	11,199	8,796	27,683	2,686	30,369
セグメント利益又は損失（△）	△24	839	△187	627	△64	563

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	627
「その他」の区分の損失	△64
棚卸資産の調整額	△6
その他の調整額	6
四半期連結損益計算書の営業利益	563

(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。